

## 自己点検表

### 教員個別表

フリガナ シラ カワ ミツル	職 名 教授	取 得 学 位 社会学修士
氏 名 白 川 充	人間学部 心理福祉学科	(大学名) 東北福祉大学 (取得年月) 1984年3月

### 2. 教育・研究業績表

#### (1) 過去5年間の教育業績(2018.4～2023.5)

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概 要
1. リアクションペーパーによる授業理解度と質問内容の把握	2004～ 現在に至る	<p>講義科目は、授業展開と受講者数の関係で、教員側からの説明、解釈を伝えることが中心である。そこで、LMS を活用しリアクションペーパーに、①「理解できたこと」、②「理解できなかったこと・感想」を提出してもらうことにより、授業内容に関する学生理解を把握している。</p> <p>また質問については、同じくLMSを活用し次回の授業内容とともに回答を付けた PowerPoint を掲載し、さらに授業の中で解説するようにしている。</p>
2. ICT 活用教育への取り組み	2008～ 現在に至る	<p>ICT 活用教育として、他学科の教員、本学科の助教とともに、①LMS を利用した e-learning による社会福祉国家試験対策システムの開発を行った。また、現在も LMS を活用して、①予習・復習用教材の提示、②授業関連の情報提供、③ブレンディド・ラーニングの試行(レポート課題の添削指導等)を行っている。</p>
3. 「心理福祉総合演習Ⅰ～Ⅳ 白川ゼミ報告書」の作成	2021.4～ 現在に至る	<p>3年、4年の白川ゼミ(授業名:心理副総合演習Ⅰ～Ⅳ)の報告書をまとめている。内容としては、1年間のゼミ活動の総括と、ゼミで取り組んだ3・4年共通課題の成果、3年のゼミ論、4年の卒論である。</p>

## (2) 過去 5 年間の研究業績(2018.4~2023.5)

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
[著書]						
1. ソーシャルワーカーのための研究ガイドブック	共著	2019. 4	中央法規出版	白川充他	日本ソーシャルワーク 学会監修、池田雅子、 白川充他	30-33 頁 154-155 頁
2. ソーシャルワークの基盤と専門職	共著	2021. 1	ミネルヴァ書房	白川充他	空閑浩人、白澤正和、 和気純子編著	133-148 頁
[その他]						
1. 福祉専門職養成における ICT 活用教育の課題	共著	2021. 12	日本社会福祉教育学会誌(第 24号)	白川充他	保正友子、池田雅子、 佐藤貴之	35-58 頁
2. 社会福祉施設におけるレジデンシャル・ソーシャルワーク(Residential Social Work)の構想と定着に関する実習的研究-母子生活支援施設お機能強化を中心に-(研究報告書)	共著	2022. 11	全国母子生活支援施設協議 会・日本ソーシャルワーク学会 による施設ソーシャルワーク に関する共同研究会	白川充他	白川充、菅田賢治、芳 賀恭司編著	29-30 頁 35-42 頁 62-65 頁
翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共著の場合)	監修者名と当該訳者 数(監訳書の場合)	該当頁数

学術研究発表		
発表テーマ	発表年月	発表場所
1. 施設ソーシャルワーク(RSW)再考－社会福祉法人と社会福祉施設におけるソーシャルワークの位置と検討課題－(シンポジスト)	2019. 7	日本ソーシャルワーク学会 第 36 回大会 学会企画シンポジウム B(淑徳大学)
2. 福祉専門職養成における ICT 活用教育の課題(コーディネーター)	2021. 6	日本社会福祉教育学会 第 17 回大会 学会企画シンポジウム(オンライン開催)
3. 母子生活支援施設におけるソーシャルワーク実践の枠組みとその構築のための検討(1)－A 施設を退所した 14 事例の分析と考察－	2022. 7	日本ソーシャルワーク学会 第 39 回大会 自由研究報告(オンライン開催)
4. 母子生活支援施設におけるソーシャルワーク実践の枠組みとその構築のための検討(2)－母子支援員へのインタビュー調査－	2022. 7	日本ソーシャルワーク学会 第 39 回大会 自由研究報告(オンライン開催)
II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
日本社会福祉学会		1983
日本ソーシャルワーク学会	2012. 4～2024. 7 学会理事	1995
日本社会福祉教育学会	2014. 10～2017. .9 学会理事 2020. 6～2023. .6 学会理事(副会長)	2006

Ⅲ 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた 年度(西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 (円)

### 3. 特記事項

(講演会・講習会等)

1. 社会福祉士・精神保健福祉士 実習担当教員講習会(講師)(2015～2018)

(社会的活動)

1. 社会福祉法人仙台いのちの電話 評議員(2010.12～2024 定時評議委員会)

2. 日本社会福祉学会 学会機関誌査読委員(2018.1～2023.12)

3. 社会福祉士及び精神保健福祉士試験委員(2019.5～2022.4)

4. 全国母子生活支援施設協議会 協議員(2021.4～2023.3)

(大学の運営管理上の実績)

1. 総合福祉学科 人間福祉専攻主任(2007.4～2009.3)

2. 学生部長(2009.4～2013.3)

3. 教務部長(2013.4～2014.3)

4. 人間学部長(2014.4～2016.3)

5. 心理福祉学科長(2016.4～2017.3)

6. 人事計画委員会 委員長(2019.4～2021.3)

7. 教務部長(2021.4～2024.3)